



自分へのご褒美「iPad」

2010年6月4日、誕生日の記念にiPad（アイ・パッド）を予約して帰ろうと思い、ビックカメラに寄りました。（最近、iPadの記事があちこちに出ていて、ついに我慢の限界を超えたというわけです）とりあえず、一番安いやつ（5万円弱）を買って、様子を見ようという作戦でした。

iPadは、インターネットへの接続方法として、Wifi接続（無線LAN接続）のみのものと、Wifiプラス3G(携帯電話の電波を使った接続)の2種類があります。3Gがつくと、約1万円高。また、フラッシュメモリーの容量が、両者とも16GB, 32GB, 64GBの3種類があります。（つまり、全部で6種類のモデルあり）フラッシュメモリーの容量が、1ランク上がるごとに、約1万円価格がアップします。

私が、予約を入れようと思ったのは、Wifi接続のみの、16GBモデル。本当は、3Gも使えるものが欲しかったのですが、毎月、約3千円の通信料が気になっておりした。（しかも、2年契約のしほりあり）。ところが、ビックカメラで聞くと、約1万円の違約金を払えば、途中解約できることがわかり、一気に3G（Wifi+3G）の魅力がアップしました。それに、3Gのモデルの在庫があるとのこと！！（16GBと32GBの2種がありましたが、この際32GBにしました。）さらに、現在契約中のEMobileの拘束期間（2年）が今月で終了することも、3Gモデルの購入の決め手になりました。

多くの方は、これに液晶保護シールとか、ケースを購入されるようです。私は、こうした付属品には、お金をかけない方針ですので、液晶保護シールはなし。（iPhoneで、このガラスが非常に傷つきにくいことを実証済みのため）。ケースは、100円ショップで、奮発して315円のネットブック用のケースを買いました。

今、充電が終わったので、これから使ってみようと思います。

iPad使用感（その1） iPadとはどんなものか

iPadとは、どんなもの？その使い心地は？そうした疑問に、パソコンに詳しくない方にもできるだけわかりやすいように、説明してみましよう。

- 1) iPad (アイ・パッド) とは、一種のパソコンである。ただし、物理的なキーボードやマウスはなく、指で画面をタッチすることで、操作する。操作は、極めて直観的。
- 2) ただし、iPadだけを買って、パソコンの代わりに使うというわけにはいかない。音楽を取り込むには、iTunes (アイ・チューンズ) というパソコン上で動くソフトが不可欠である。iPadに、デジカメで撮影した写真を取り込むことは可能 (オプションの購入が必要) だが、あくまで一時的な保存先と考えた方がよい。というのも、iPadの記憶容量 (パソコンのハードディスクにあたる) は、最大でも64GBしかないので、私のように膨大な写真を撮影する人間が使うと、あっという間に、この記憶容量の上限に達してしまう。パソコンの子機とでも、考えておいた方がよい。
- 3) iPadが発売される前に、iPhoneという、パソコン (の機能の一部) と、携帯電話と、デジタル音楽プレーヤーの機能を組み合わせた機器が、世の中に出現した。私は、これまでの携帯を辞めて、iPhone1台で、この3機能を使っているが、大変よくできた機械だと思う。当初は、ITオタクの持ち物であったが、最近通勤電車の中を見ると、女性のユーザーが多いことに気づく。現在、iPhoneを購入する4割は、女性だとどこかで読んだ。(ただし、iPhoneも、別途パソコンが無ければ使えない)
- 4) iPadは、このiPhoneと機能的には似ている。iPhoneのように電話はできないが、それ以外のことは全て出来る (含メール)。画面が、9.7インチと大きいので、iPhoneよりも、一覧性に優れる。(iPhoneも、文字を自由に拡大できるが、面倒くさい) しかも、高級な液晶を使っているので、視野角が広く (斜めからでも見える)、文字が見やすく、またカラー写真も美しい。
- 5) iPadのメリットを一番感じるのは、電子版の新聞や雑誌などを読むとき。10時間も持つ充電式バッテリーが内蔵され、LANケーブルなどがついていないので、一般の本の感覚で、見ることができる。目も疲れない。文字をじっくり読むために、非常にすぐれた機械ということができる。私は、日経新聞の電子版を購読しているので、これを読むにも重宝する。

購入する優先順位としては、パソコン=>iPhone =>iPadではないかと思えます。もっとも、車通勤の場合であれば、iPhoneの代わりに、一般の携帯電話を使うという選択肢も面白いでしょう。

iPadの使用感（その2）電子書籍

今夜は、テレビも見ずに、ずっとiPadで「読書」しておりました。従来、長い文章はパソコンの画面では読む気になれず、プリントしておりましたが、なぜかiPadだとそのまま読む気になります。自分の手で持っているため自由な姿勢で読める。文字が見やすいということが、今まで使用していたノートパソコンとの違いです。

ところで、電子書籍の火つけ役になったのは、Kindle（キンドル）という米国の「アマゾン」が開発した電子書籍端末です。iPadには、Kindleと同じ機能を持つアプリケーションがあり、最近では、iPadで電子書籍を読むアメリカ人が激増していると、どこかで読みました。

どんなものか、私もアプリをダウンロードして見ました。すると、すぐにアマゾン（米国）のサイトにつながります。アマゾンにユーザー登録（日本のアマゾンとは、別のIDが必要）をすると、面白そうな本が多数見つかりました。とりあえず、iPadの使い方の解説本で、評価の高いものを購入することにしました。

住所、氏名、クレジットカード情報、そして使用するiPadを米国のアマゾンに登録します。そして、iPad上で購入ボタンを押すと、先ほどのアプリが立ち上がり、その中に購入した電子書籍が入ってきました。800ページ（普通の本でしたら、400ページ位？）の本をダウンロードするのに必要な時間は、1分とかかりませんでした。価格は、2ドル99セント（約270円）。もちろん、送料はかかりません。

これは、かなり衝撃的な経験でした。電子書籍は、単に紙がなくなるのではなく、国境を越えて瞬時に「配達」が可能ということです。次回からは、クレジットカードやiPadの登録は不要。パスワードを入れるだけで、電子書籍が手元のiPadにアメリカから？飛んでくるのです。

ついでに、Business Weekや、NewsWeekなどの、米国の雑誌を購入しようと考えました。ただし、購入した人の評価はあまり高くない。購入者の評価を読んでも、テキストデータしか送られて来ないためのようです。これは、写真の著作権の問題なのか、あるいは、データ量が增えることを恐れていることなのかは、まだよくわかりません。

ところで、電子版の「iPadの使い方」を読んでもみると、日本の「青空文庫」のように、著作権が切れた書物を提供しているサイトが、米国には多数あることがわかりました。それぞれのサイトの特色なども解説されております。改めて、すごい時代が来ていることを実感しました。

iPadの使用感（その3） 外出先での使用

外出時の使用について、この2日間で感じたことをまとめてみます。

1) 小田原への取材

- 車ででかけたので、この程度の荷物の増加は、全く気にならない。
- ネット接続ができるのは、地図を見たり、観光案内をみたり、食事場所を探したり、取材中にわいてきた疑問を解決するのに、非常に有用。ガイドブックを持っていくよりも、ずっと役に立つ。同様の機能は、iPhoneにもあるが、ウェブサイトの見やすさという点では、雲泥の差。
- GPSを活用して、ネズミ捕りをよくやっている場所や、オービス（自動速度取締機）の設置場所が近付くと警告音を発生するアプリを使用。しかし、一度も警告音が出なかった（あるいは、聞こえなかった？）。このアプリの有用性は、大いに疑問。
- 説明の書かれた看板をデジカメで写真撮影。これまでは、原稿を書く際、これを大きくプリントして参考にしていた。iPadに取り込めば、拡大が自由にできるので、プリントするより便利。

2) 通勤

- 往復とも、電車に座ることができたので、日経新聞の電子版を読む。本日は、新聞休刊日ではあるが、電子版には新しいニュースが入っている。
- 日経新聞の電子版は、単に紙の新聞を電子化しただけでなく、過去の関連記事の見出しも、出してくる。関連記事を読むと、ニュースをより深く理解できる。また、記事のスクラップも、一瞬で可能。業界のニュースの絞り込み、過去の記事の検索もできる点でも、便利。
- iPadは、立った状態では、使いにくい。ストラップなどが無いので、誤って落とすリスクを感じる。（ただし、ノートブックタイプのケースに入れると、滑らないので、安心できます。）

注) 外出時に利用するには、2つの方法があります。

1) iPadのWifi+3Gモデルを購入。

2) iPadのWifiモデルと、Wifiルーターの組み合わせ。

コスト的には、1の方が安いと考えてよろしいと思います。（3Gモデルの月額通信料は2910円。もっとも安いEMobileのWifiルーターの通信料は、月額4980円（最初の1年間は、これより1000円引き）

ただし、Softbankの電波が届きにくい地区に行く方は、DocomoのWifiルーターの方が安心だと思えます。EMobileは、カバーしている地域が、Softbankよりもさらに限定的なので、旅先での使用にはお勧めしません。（状況は改善しつつあるようですが）

iPadの使用感（その4）アクセサリ

iPadを会社の机の上に置いておくと、いろんな人が「オッ！」という声をあげ、話しかけてきます。最初に気付いたのは、広報部員。

今のところ、社内では私以外1人しか持っている人を見ておりません。経理部門のA氏です。彼は、相当気合いを入れて購入したようです。発売前に予約を入れたのはもちろんのこと、米国で入手困難といわれているiPadのケースを、発売前に購入したそうです。このケースなかなか良くできています。本体（液晶部分も含む）を保護するだけでなく、広げるとスタンドにもなります。さらに、iPadであることを目立たせなくする効果があるので、電車の中でも気楽に使えます。

早速、私も315円のケースから、このiPad用のアップル純正ケースに乗り換えることにしました。しかし、値段を見てびっくり。約4千円。それに、注文してから入手できるまで、3—4週間もかかることが分かりました。恐るべし、iPad人気。

するとその夜、秋葉原の「あきばおー」から「iPadのアクセサリの販売を開始しました」とのメールが来ました。そのリストの中に、あの純正ケースのそっくりさんが、ありました。価格は、1,879円と格安。iPadでなく、中国製の偽物“iPet”用でないかと心配しながら購入しましたが、iPadがうまく収まりました。機能的には、純正と同じ。大きな違いは、リンゴマークがないことです。

iPad使用3か月の感想

iPad(3G 32GB)を購入して、3か月が経過いたしました。幸い、今でも飽きることなく毎日活用しております。気が付いたことをまとめてみます。

1. iPad在庫状況

近所のヨドバシカメラやビックカメラでは、すべての機種が即納の状況になっております。

2. 電波の状況

iPad, iPhoneは、現在ソフトバンクのネットワークを使っております。ソフトバンクについては、つながり難いという悪評が高く、それに対応して、今年中に基地局を倍増するプロジェクトに取り組んでいるとのこと。しかし、iPhoneやiPadの数の増加が、そうした対策を上回っているように感じられます。iPhoneのデータ通信量は通常の携帯電話の10倍と言われております。実際、私のオフィスでは、昼休みになると、iPadは通信速度が非常に遅くなり、イライラします。もともと、ソフトバンクに割り当てられた周波数帯域はドコモやAUに比べ狭く、ハンディがあります。そうした自社の通信能力の限界をわきまえず、シェア拡大に走る姿には、疑問を感じざるを得ません。ただし、それ以外の日常生活では、それほどストレスなく通信できます。

3. 主な用途

用途は、人によりさまざまでしょう。私の場合は、読書とネット閲覧が2大用途となっております。iPadには100冊以上の単行本や雑誌を保存しております。読みたい時に、読みたい本を読む自由度は、初めてiPod(アイポッド)を手にして、聴きたい音楽を自由に聴けるようになった時と同じ感動を覚えます。

4. アクセサリー

- ケース：百円ショップのものは、今一つであったが、ノートブック型のケースは○
- 保護フィルム：購入せず。iPadのガラスは非常に硬いので、保護フィルムがなくても、傷はつかない。
- 車載キット：カーナビ機能があるので、試してみようとして購入。大きすぎて、視界の妨げになり、×
- 外付けキーボード (Bluetooth接続)：昨日、秋葉原で衝動買い。なかなか使い方がわからなかったが、わかってしまうと、非常に便利。9種類までの機器に対応できる機種を選んだので、iPhone、iPadの両方で使える。かな漢字変換機能も進化してきたので、iPadをワープロとして活用することも可能。

なお、紙の本をiPadに入れる方法（通称「自炊」）については、別途書きたいと思います。